|  |
| --- |
| 市長との細谷・上戸祭地区まちづくり懇談会「意見・要望書」 |
| 提出者 | ふりがな |  | 所属先 |
| 氏　　名 | 役 職 名 |
| 住　　所 |  |
| 電話番号 |  |
| テーマ　小さな自治会は「防犯カメラ」で子どもたちを犯罪から守れません。 |
| * わたくしたちは、未来ある子どもたちが事故や犯罪に巻き込まれることなく、スクスクと育ってほしいと、多くの仲間たちと子どもの見守り活動を続けています。

「しあわせと笑顔のまちづくり」の一環として、通学路や公園などへ防犯カメラを取り付けて、犯罪の抑止をしたいと考えているところであります。宇都宮市では「防犯カメラ」の設置等の補助額は３分の二だそうです。３分の一は自治会の負担だと聞いています。カメラの設置費用が１台３０万円とすれば、１０万円は自治会で負担。３台であれば３０万円を用意しなくてはいけません。大きな世帯の自治会や財政的に豊かな自治会は、その費用を捻出することはできますが、小さな自治会で財政的に豊かでない自治会は「防犯カメラ」を設置することもできませんし、「防犯カメラ」で、子どもや多くの仲間たちを守ることができません。この「防犯カメラ」は自宅の敷地内に取り付けるものと違い、道路上や公園などの公共の場に取り付けをして、自治会員だけでなく、そこを利用する多くの人や通過をする車両、通行人などを犯罪から守るものであるとすれば、自治会費を増額して等しく自治会員に負担をしてもらうことは、残念ながら難しい状況の自治会がたくさんあります。同じ、宇都宮市に住んでいて等しく負担すべきものは負担をしているにもかかわらず、住む場所によって、不利益が生じるということは、とても、悲しいですね。　その様なことから、公園などの取り付ける場所などにより、自治会の負担率を少しでも軽減をしていただけるような「防犯カメラの補助制度」の見直しを図っていただきたい。１００％の公費負担が望ましいのですが・・・・・(^^♪。子どもたちのためにも、ご検討をお願い申し上げます。 |
|  |